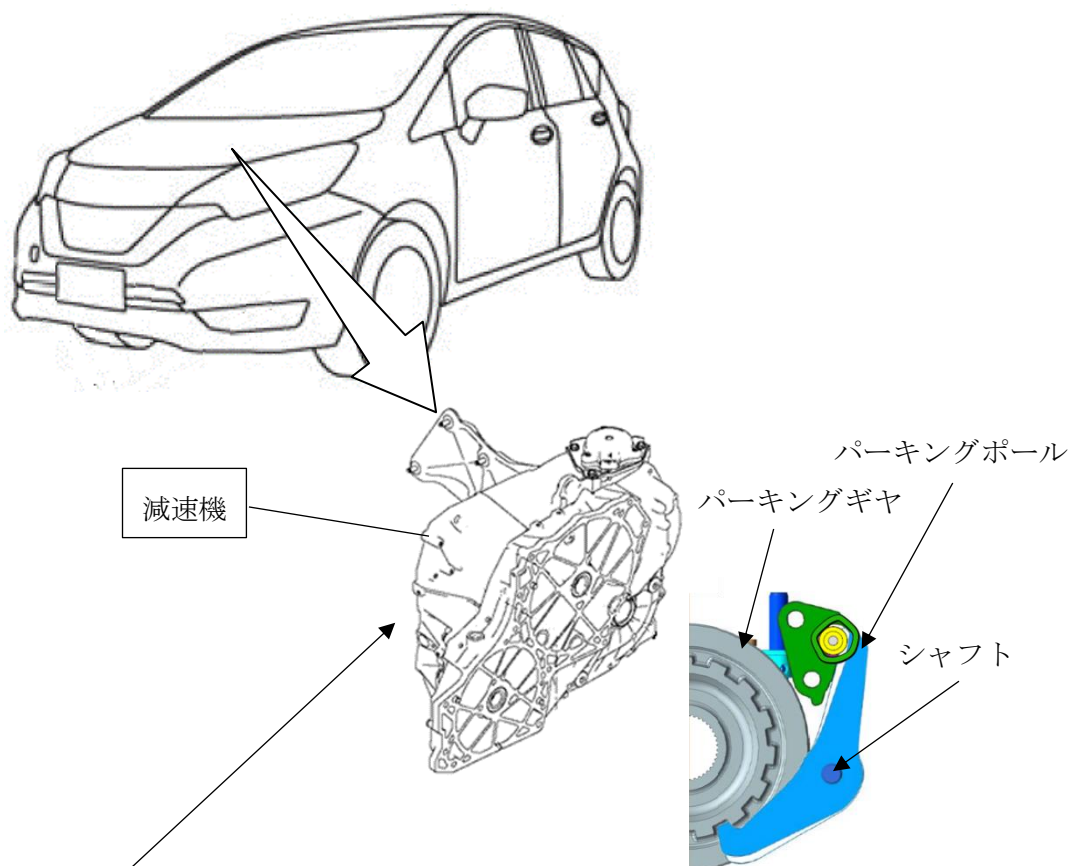


改善箇所説明図



不具合発生箇所

減速機の製造工程において、パーキングロック（Pレンジにした際に車輪を機械的に固定するもの）の作動確認検査方法が不適切なため、パーキングポールのシャフトが変形しているものがある。そのため、Pレンジでパーキングロックが作動する際にパーキングポールとシャフトの摺動抵抗が高くなり、パーキングロックが作動せず、最悪の場合、駐車条件によっては駐車ブレーキを掛けていないと、車両が動くおそれがある。

改善の内容

全車両、パーキングロックの作動確認を行い、作動不良があった場合は当該減速機を良品と交換する。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートの右横に貼り付ける。

注： は、交換部品を示す。